

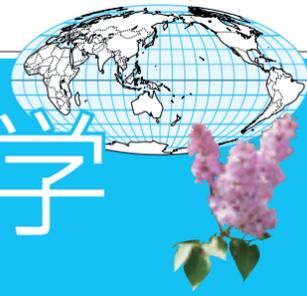
# 學報

学校法人 北海学園

# 北海商科大学

アジアの時代に、アジアを学ぶ。

## Hokkai School of Commerce Newsletter



# Vol.16

2014.6.20

発行:北海商科大学  
編集:北海商科大学広報委員会  
〒062-8607  
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番  
TEL:011-841-1161(代)  
FAX:011-824-0801  
http://www.hokkai.ac.jp  
制作:(株)ラボット

### 掲載記事

学部長挨拶	2面
平成25年度卒業式	2面
平成25年度交換留学生修了式	2面
優秀学生表彰	3面
就職特集 平成25年度就職について	3面
2年次所属学科選考ガイダンス	3面
平成26年度入試結果概要	3面
保護者説明会開催	3面
就職特集 就職座談会	3・4面
留学だより	4面
交換留学生歓迎会開催、交換留学生紹介	5面
開発研究所活動報告、院生研究活動	5面
キャンパスベンチャーグランプリ入賞	5面
研究のいま「研究室 now」	6面
ゼミ訪問(横田ゼミ、玉井ゼミ)	6面
[フォトギャラリー]体育祭速報	7面
サークル活動・韓流ダンス大会優勝	7面
学生相談室ニュースレター[連載2]	7面
外部講師ゼミ講義、交換教員紹介、行事予定	8面
スピーチコンテスト・語学検定結果報告	8面
公開講座開催、各種検定試験合格者数	8面



## 競技も応援も多彩に「百花繚乱」

### Topics 1 体育祭開催される

**平成26年度第1回体育祭報告記**  
 さる5月24日(土)、第1回体育祭がNTT北海道セミナーセンタ体育館を会場として開催されました。今年度は「百花繚乱」のテーマの元で、33チーム、240名の参加により例年通りの熱戦が繰り広げられました。8時50分の開始時には寒かった体育館内は、直後から気温もテンションも急上昇でした。

種目は午前がバレーボールで、午後は大縄跳びとバスケットボールでした。若さを爆発させた学生諸君は、恒例のカツ・エビフライ・カレー食べ放題の昼食でエネルギーを補給し、今度は賑やかに応援合戦をしていました。今年は応援の音が、時が経つにつれて大きくなったように感じました。その後、和気あいあいとした雰囲気の中で集合

写真を撮り試合を再開しました。試合進行は実行委員会の腕の見せ所ですが、今年も時間通りの大会となりました。試合終了後、表彰式が行われ1位から3位までのチームは、トロフィーとともに副賞のQUOカードを贈られて、成功裏に大会は閉幕したのでした。  
 (田辺)  
 (7面フォトギャラリーに写真掲載)



### Topics 2 平成26年度入学式挙行

平成26(2014)年度入学式が4月3日、ガーデンパレスホテルにて挙行されました。今年度は学部生157名、大学院商学研究科博士(後期)課程4名、修士課程3名、研究生1名、交換留学生14名、合わせて179名の新入生を迎えました。学長の式辞に続いて新入生宣誓、学部長・研究科長・センター長の紹介が行われました。

ある教育理念は広く知られるようになり、その理念に学ぼうとする志を持った新入生が本年も数多く入学しました。また、中国・韓国からの交換留学生の皆さんも、本学での1年間の留学をスタートさせました。

式終了後は、式場前での記念撮影で賑わい、新たな門出にふさわしい入学式となりました。

(森本正夫学長の式辞は下記に掲載)



平成26年度入学式

### 【平成26年度第4回北海商科大学大学院・第38回北海商科大学入学式式辞要約】

北国の春のこの佳き日に、北海学園の理事・監事・役員の方々、また設置校の北海学園大学学長木村和範先生、北海高等学校校長山崎省一先生、北海学園札幌高等学校校長 大西修夫先生をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席をいただき、ここに北海商科大学の新入生157名と交流校である中国山東大学から6名、中国煙台大学から2名、韓国大田大学から6名の留学生を迎えました。

また、東アジアの時代を見据え、流通、観光、経営分野の高度な専門的知識・能力を備えた人材育成を目指し、昨年度開設しました大学院商学研究科博士後期課程4名、修士課程3名、研究生1名、合わせて179名の入学式を、保護者、関係者の皆様とともに挙行できますことは、私ども教職員一同が深く喜びとするところであります。

この北海商科大学の新たな歴史は、きょう入学された皆さんが、築き上げて行くものです。北海商科大学は新しい大学です。母体である北海学園の歴史は古く、創立は129年前の明治18年にさかのぼります。現在、北海学園は、北海学園大学と大学院のほか、北海高等学校と北海学園札幌高等学校を設

置しており、1万2千名を有する学生生徒が日夜勉学に励み、また課外活動に精を出しています。きょう皆さんは、その北海学園の仲間として迎えられたわけです。

新入生の皆さんは、新しいアジアの時代のグローバル化を見据えた言語・文化・社会及び国際関係を中心に学び幅広い問題意識から商取り引きやビジネス活動に欠かせない基本となる知識を広く深く学びます。特に最初は、皆さんの将来に役に立つ外国語の教育と異文化の理解に力を入れています。本学の海外の教育研修交流姉妹大学は、北海道の姉妹州のカナダのアルバータ州南部、33年の交流実績があるレスブリッジ大学、中国沿岸部の風光明媚な山東半島、山東大学と煙台大学、韓国では札幌市と姉妹都市、昔の百済王国の地にある大田広域市の大田大学校が皆さんを受け入れる準備を整えています。皆さんは、アジアの時代にアジアの若者たちと新しい大学で学ぶことになるわけです。

さて、大学とは広く知識を学び、真理を探究するところです。そうした大学で学ぶことは人格形成にもつながります。そのため本学では多彩なカリ

キュラムを用意しております。特に、少人数教育を重視し、研究と教育を統合する人材育成プログラムを展開しています。また、語学、情報管理、観光、貿易通商、社会行政などの分野で高度な技能と資格の取得を目指すなど、学問を通して実践的教育を実現して行くカリキュラムを特徴としております。

私は常々、大学教育の真髄は、学問を通じての、教師と学生との人間的一体化であると考えております。ゼミナールを通じての、教授と学生との学問に関するやり取りを通じて、皆さんの人格形成がなされるものと期待しております。歴史ある北海学園の、恵まれた環境の中で、学生生活を大切に、課外活動や社会活動にも積極的に取り組んでいただきたいと思います。

新入生の皆さんにおかれましては、きょうの入学式の喜びを忘れず、これからの学生生活に反映させてください。明日への飛躍を確かなものとするよう、皆さんが健康に留意し、精一杯努力することを期待しています。

平成26年4月3日  
 北海商科大学 学長 森本 正夫



写真上：森本正夫学長式辞  
 写真下：新入生代表による宣誓

### Topics 3 平成26年度 学部長挨拶

■ 商学部長  
阿部 秀明 教授



国際連携・グローバルビジネスの必要性が高まる中で、「アジアの時代にアジアを学ぶ」を教育目標に掲げる本学は、その特色ある教育理念により、これまで以上に社会的認知を受けるようになりました。昨年度開設した大学院博士後期課程も順調に歩みだし、大学の評価も一層高まっています。とりわけ出口である就職面では、景気回復の兆しが依然として厳しい北海道の経済状況の中でも、本学の就職率は96.7%（昨年95.5%）と、全国の83%と比較しても大いに健闘しており、全国的にも道内大学の中でもトップクラスの就職率といえます。これまでの教育・キャリア支援の取組が大きく実を結んだものと考えます。

今後も、国内はもとより、国際的な評価にも堪え得る知的能力を身に付けた卒業生を数多く輩出することが本学の

#### 平成26年度 研究科長・学部長・センター長

- 大学院研究科長  
西川 博史 教授
- 商学部長  
阿部 秀明 教授
- 教務センター長  
柳川 博 教授
- 学術発展センター長  
伊藤 昭男 教授
- 入試・広報センター長  
堂徳 将人 教授
- キャリア支援センター長  
菊地 均 教授
- 学生支援センター長  
田辺 隆司 教授
- 国際交流センター長  
加藤 由紀子 教授

の使命と考えています。そのためにも、更に教育研究内容の多様化と体系化を進め、時代の要請に応え得る大学を目指します。今後とも本学へのご支援ご鞭撻をお願い致します。

### Topics 4 平成25年度 交換留学生修了式

2月20日(木)に、2013年度の交換留学生の修了式が開発研究所で行なわれ、森本正夫理事長・学長から、交換留学生と研究生に修了証書が授与されました。

交換留学生15名は、4月から留学生プログラムで日本語と日本の生活文化を学習しながら、日本人学生と一緒にゼミや講義を履修してきました。学業の傍ら大学祭などの大学の行事に関わり、また、札幌国際プラザなどの留学生イベントなどに参加、他大学や地域との交流を行ってきました。

山東大学の毛幸子さんは、謝辞で、



北海商科大学の学生として過ごした日々の中で、新しい世界との出会いがあったこと、そして、この留学生生活を人生の原動力にして、各自の目標を実現するために頑張るという決意を述べて、本学から巣立ちました。（加藤）



写真上：交換留学生修了式で謝辞を述べる留学生、下：修了式後の全体写真

### Topics 5 平成25年度卒業証書・学位記授与式挙行

平成25(2013)年度卒業証書・学位記授与式が3月18日、札幌パークホテルにて挙行されました。平成25年度修士課程修了生4名、商学部卒業生177名（うち商学科137名、観光産業学科40名）に卒業証書・学位記が授与されました。卒業生、修了生は教職員やご来賓、家族が多数見守る中、新たに学窓を巣立ちました。

卒業式の後、同所にて「卒業生を送

る会」が催されました。本学同窓会田口茂春会長、森本正夫学長が祝辞を述べられ、在学中の活動に対してサークル連合などが表彰されました。会場では卒業生と教職員が和やかな雰囲気の中、最後の交流に有意義な時間を過ごしました。6月にはこの卒業式の様子を納め、四年間の思い出が沢山つまった卒業アルバムが送られることになっています。

写真左・右上：卒業証書・学位記授与式、中：送る会での表彰、右下：全体写真



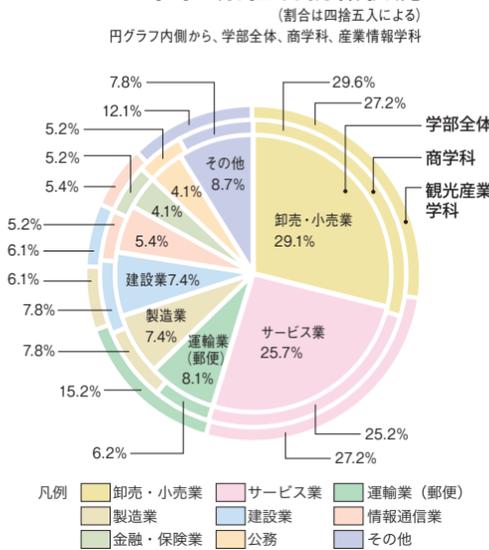
## 就職特集

# 2013年就職状況、今年も

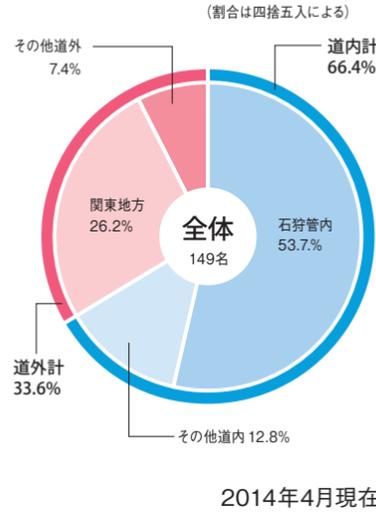
大学生が社会へ巣立つための、大事な岐路での「就活」。景気回復に期待感が増し、全国の大卒就職率は上昇しています。本学卒業生(平成25年度)の就職は、昨年に引き続き好結果を残しました。後に続く在学生には、力強い励ましとなりました。新たに就活真っ只中にいる皆さんへ、卒業生が応援の力強いエールを送ってくれました。



#### 2014年卒/業種別就職状況



#### 2014年卒/ 本社所在地別就職状況



6月7・8日に行われた学内合同企業説明会



# 高い就職決定率を達成。& 就活へ、卒業生エール座談会

**本学就職決定率**  
 ●2014年4月現在 **96.7%**  
 (女子決定率 **98.2%**)  
 ●商学科  
 就職決定率 95.8% (女子決定率 97.1%)  
 ●観光産業学科  
 就職決定率 100% (女子決定率 100%)



2013年11月に行われた学内就活イベント「Live Voice」

## 平成25年度 主な就職先 色文字表記企業名：東証1部、東証2部、JASDAQ

業種別企業・団体名(敬称略・順不動)	業種別企業・団体名(敬称略・順不動)	業種別企業・団体名(敬称略・順不動)
店舗開発マネジメント	セブン-イレブン・ジャパン	日本防災技術センター
コスモ建設	ティービーバック	山東労務日本
ミサワホーム北海道	バーンデストジャパンリミテッド	北海道厚生農業協同組合連合会
一条工務店	モロオ	UTホールディングス
共立メンテナンス	海田鋼材	泉澤測量設計
昭和プラント	高橋商事	エイジス北海道
三井不動産リアルティ札幌	山崎火薬銃砲店	エンパロサービス
大和ハウス工業	富士薬品	光通信
東日本ハウス	シティービル	出口秀樹税理士事務所
北海道セキスイハイム	札幌ガス	滋慶学園
アベテック	青山商事	日本教育クリエイト
ホクレン肥料	大丸藤井	JR北海道ホテルズ
ケイシイシイ	長谷川産業	トーホウリゾート
加藤水産	東新エナジー	加森観光
東京めいらく	日産部品北海道販売	エイチ・アイ・エス
オーテック	北海道スバル	キャスト
佐藤水産	北海道換気	京王プラザホテル札幌
三浦印刷	北海道日野自動車	星野リゾート・トマム
エース	マックスバリュ北海道	東横イン
札幌市交通事業振興公社	三越・伊勢丹ホールディングス	SGS
日本郵便	トライアルカンパニー	マイナビ
北海道旅客鉄道	フィナンシャル・エージェンシー	メディアジョイント
A s - m e エステール	北洋銀行	ハルソフト
UDトラック道東	十勝信用組合	ブロードリーフ
山本商会	上光証券	日本システムコンサルタント
コマツレンタル北海道	渡島信用金庫	北海道農業企業研究所
セントラル石油瓦斯	恵正会	北海道トラック協会
ダイハツ北海道販売	グロウスタッフ	共和町役場
ラディックス	マスダプランニング	釧路町役場
リコージャパン	メディカル・ケア・サービス	札幌市消防
永浜クロス	恵佑会札幌病院	日本自動車連盟
エリオ	道北勤労者医療協会	大学生協同組合北海道事業連合
サッポロドラッグストアー	Eストアー	美瑛市役所
サンドラッグプラス	トヨタレンタリース札幌	北海道
ジェイアイエヌ	札幌	北海道警察

## 就職活動自体が魅力的な活動! あきらめずに続けることが一番!

水野：現在は企業の一員として歩み出した皆さんに集まっていただき、貴重な就職体験談を語っていただきたいと思います。まず初めに自己紹介をお願いします。



司会  
水野 俊平 教授

寺嶋：北海道スバル株式会社に勤務しております。ショールームレディとして、お客様に車を販売する仕事をしています。

横山：札幌西税務署にて勤務しております。北海商科大学を卒業後、大学院修士課程を修了して、現役で入ることができました。

堂下：空知信用金庫の本店に勤めて3年になります。いまは窓口業務、主にローカウンターにありまして、定期預金・諸届け、相続のお客様を担当しております。

水谷：平成23年に卒業して、いったんは民間企業に就職したものの、体調など一身上の理由で退職し、現在は北海道庁・空知振興局に勤めています。

(次面に続く)

## 平成25年度就職状況について ●キャリア支援センター長 菊地 均 教授

日本経済は、なんといっても消費増税後の景気動向が最大の焦点となっております。バブル崩壊後の就職が困難だった時期に比べると、景気拡大が続く中で、雇用情勢が急速に改善しているようですが、道内企業が採用人数を大幅に増やすにはもう少し時間がかかると思われます。

さて本学の就職状況は、就職希望者のうち96.7%の就職率となりました。特徴的なことは、金融・証券、観光関連などの業種で女子学生の多いなる健闘により、昨年に引き続き100%の就職率を維持できたことです。

この度、平成27年度大学卒業予定者(現在の3年生)の就職活動の開始時期を3月1日以降に、その後の採用選考を8月1日以降に改められます。学生諸君においては、開始時期のいかんを問わず、自分の進路について早くから真剣に考え、就職活動の準備を怠らないことが大事です。キャリア支援センターとしては時代に即した体制を整え、就職支援を一層強化していきます。

## Topics 6 学業優秀学生・課外活動優秀表学生表彰

北海商科大学教育振興資金による学業優秀学生・課外活動優秀学生表彰を、2年次と3年次の学生を対象として実施しました。本学の教育振興資金による学生の海外留学及び対外活動支援はこれまででも行ってきましたが、昨年度からは学業および課外活動優秀学生も

表彰することになり、今年度は3月20日のガイダンス時に2年次3名、3年次3名を表彰し、奨励金を授与しました。今後も奨励金等により、一層の学業成績向上や対外活動で成果をあげられるよう期待しています。

(阿部)

## Report 1 2年次所属学科選考ガイダンス開始

平成23年度入試から学部入試に移行したことに伴い、2年次第3セメスター開始時に所属学科を決定する作業は今年度で3回目となります。学生の所属学科希望を最大限考慮し、両学科の定員に対して極端に希望が偏った場合には1年次の成績を基準に選考を行うことを周知しながら所属学科決定作業を進めていきます。まず3月20日の新2年次ガイダンスにおいて、所属学科決定までのスケジュールと学科の定員に偏りが生じた場合の選考基準を説明し、商学科長村松教授、観光産業学科長佐藤教授より各学科の概要とカリキュラムポリシーを説明しました。

5月20日には第1回目の2年次所属学科選考ガイダンスを実施し、6月10

日から6月19日にかけて、両学科の専門ゼミナール見学を実施します。7月1日には第2回目のガイダンスを行い、志望学科届を配布します。自身の学修計画や卒業後の進路を勘案し、7月3日までに志望学科届の提出を求めます。所属学科選考結果の発表は2年次ガイダンスの前日9月11日を予定しています。

(柳川)



6月10日のゼミ見学

## Report 2 平成26年度 入試結果概況

本年度の入試をめぐる環境は、少子化が進行する中において、特に、道内では18歳人口が過去10年で最も減少したことに加え、理工系(医療・看護等)学部・学科への志向の高まりや、アジア近隣諸国との政治的軋轢の深刻化等を背景として、大変厳しいものがありました。そうした状況にあって、本学では一般入試、センター試験利用入試、特別(推薦)入試を合わせた志願者が357名となり、入学定員150名に対する倍率は2.4倍となりました。

一般入試では、開学以来の懸案となっていた入試科目の3科目化をはじめ実施しました。例年の国語・英語に選択教科(「数学I・A」「地理B」「日本史B」「世界史B」「政治・経済」)を加え、受験生が得意科目を選択して解答できるようになりました。選択科目全体の平均点は63.7点となり、英・国の平均点を上回りました。また、選択率は「政治・経済」が38%、日本史が28%と続き、両科目で全体の3分の2に達したことからも、社会科学系(商学)分野に関心の高い受験生の確保につながったものと考えています。

センター試験利用入試では、昨年に続き「地歴」「公民」から各2科目の選択を可能とし、98名の出願を得ました。

特別入試では、指定校推薦において、40名の志願者を得ました。また、一昨年度から実施した公募推薦を継続して、「アジアの時代にアジアを学ぶ」という本学のアドミッションポリシーに共感し、人物・学業ともに優秀で「グローバルに活躍する人材」を広く求めた結果、定員10名のところ11名の志願者があり、全員優秀な成績で合格しました。

入学生に実施するアンケートでは、「アジアについて学べる」「外国語の授業」への期待等に加え、「資格取得」や「就職・進路実現」への取り組みなどへの期待が多くなっており、入学者が本学の教学ポリシーに共感し、高い学習意欲を有することが窺われ、まさに、学びの相乗効果が生じると期待されます。

次年度入試では定員増が予定される中、さらなる広報の充実や入試制度の改善に努めて参ります。(堂徳)

## Report 3 2年次・3年次保護者説明会開催

平成26年度の保護者説明会が、本学を会場として5月24日2年次、5月31日3年次の保護者を対象として開催しました。両日とも、阿部学部長より本学の現況と今後の取り組みについて説明した後、2年次の説明会では、所属学科を決定する学年でもあり、教務センター所管の内容を中心に所属学科決定までのスケジュール等を説明しました。3年次の説明会では、就職活動が本格化する時期でもあり、キャリア支援センター所管の内容が中心となりました。全体の説明会に続き、学生それぞれに関する個別相談を実施し、相



5月24日に行われた2年次保護者説明会談内容に応じて各センター長が説明しました。大学と保護者の方々が一体となって学生支援に当たり、それぞれの学生が充実した学生生活を送れるよう、今後も体制を整備していきます。

(柳川)

就職  
特集

## 就活へ、卒業生エール座談会

(3面から続く)

**水野：就職活動はどのように始めましたか。**

**寺嶋：**私が本格的に始めたのは3年生の12月ごろでした。業種は自動車メーカー関係に絞っていましたが、エントリーシートも4、5社にしか送りませんでした。



●寺嶋 紗輝さん  
北海道スバル株式会社  
2012年観光産業学科卒  
(北海道高校出身)

**水谷：**地元・北海道に貢献できるような仕事をしたいと思って、準備は自宅で、独学で始めました。

**横山：**大学院在学中からターゲットは公務員、ということに絞ってました。それを見据えて大学院にも入ったので。私の場合は予備校にも通って、勉強を始めました。

**堂下：**銀行・保険・証券など金融関係に早くから対象を絞りました。エントリーシートは30社くらいには出したと思います。面接にまで進めたのは15~20社くらいです。

**水野：就活の間、どのように勉強しましたか。**

**横山：**現在の職場に入ることは考えていたので、それに向けて資格などの取得で知識を深めました。それと、卒業論文は必ず書かなければならない、というものではなかったんですけど、(指導教授の)中島先生にやっていたほうがいい、ということで、やってみてよかったと思っています。

**堂下：**もちろん、企業研究をしたり、会社説明会に出たりしました。就活に関係した金融の本などを読んだり、新聞を読んで時事ネタを調べたり、面接に臨む前には会社のホームページなどを見て準備しました。

**寺嶋：**私の場合は外部のセミナーなどは受けて、ほとんど大学の就活支援に頼っていました。基本的なことですが、エントリーシートの書き方や、模擬面接などですね。授業や講習などをきちんと受けていれば、それだけで十分だと思います。

**水谷：**参考書を買って来て、1日10時間くらい、ひたすら問題集を解いていました。必ず10時間やるという目標を立てて毎日やっていました。

**水野：面接はどのように準備しましたか。**

**寺嶋：**最終面接では資本金、従業員数が…といった数字についても勉強したんですが、それぞれの自動車メーカーが大切にしているところとか、こだわりなどをしっかり理解して、なぜ、

その会社を志望するのか、ということの研究しました。技術的なことよりも、なぜ車の営業をしたいか、というところを重点的に面接で言おうと思いました。

**水谷：**面接用のノートを作っていました。大学の時には民間企業も受けていたので、面接を受けたらすぐに記録するようにしていました。その答えをちゃんと答えられるように準備していました。

**堂下：**大学でやる就活のサポートはできれば受けた方がいいと思います。模擬面接などはマンツーマンでやってもらえましたし。リクナビ・マイナビの面接の練習・模擬面接などにも行きました。あと、本番の面接をたくさん受けたので場馴れしたと思います。

**横山：**模擬面接については予備校では10回も受けました。留意すべき点としては、私自身、準備していないこと、自信のないことになると声が小さくなる傾向がありました。その点には気を付けて、ちゃんと声を出すようにしました。あと、一緒に学んでいる人から面接に関する情報を得たりするのもいいと思います。



●横山 直哉君  
札幌西税務署  
2011年商学科卒  
2013年大学院修士課程修了  
(大森高校出身)

**水野：面接ではどのようなことを聞かれましたか。**

**寺嶋：**スバルでの面接は3、4回ありました。最初は面接というよりはみんなでグループ・ディスカッションをするような形式でした。私は周りの話を聞いてまとめ役に回ったと思います。ほかのメーカーさんでもそういったディスカッションはありました。圧迫面接ではないんですが、「学力試験の成績がよくないし、常識に欠けていますね」という質問を受けたことがありました。「入社まで半年以上ありますので、これから一生懸命勉強すれば、大丈夫です」と答えました。動揺はなるべく見せないようにして、笑顔をキープしていたと思います。

**堂下：**金融系の面接は結構オーソドックスな質問が多かったです。志望動機とか、自分の趣味とか、自分のやりたいこととか、突発的な質問はありませんでした。「気になっているニュースはなんですか」とか、基本的な質問が多かったと思います。

**水谷：**面接は3回ありました。2次面接は2日間にわたって行われました。1日目はグループ・ディスカッションをやりました。なかなか討論に入って行くのは難しかったんですが、討論を始める時のはじめの一言、つかみの一言を大事にしていました。2日目が最終面接で、「今、北海道に足りないもの、その解決策は何か」をいちばん深く聞かれました。前の職場での経験、官公庁によく出入りしていましたので、その経験を生かして答えました。

**横山：**面接では「消費税」について聞かれたんですが、相手はその道のプロ。準備不足でしどろもどろになってしまいました。面接では、最後に「何か言い残すことはありませんか」と言わ



2013年合同企業説明会(札幌コンベンションセンター)

れた時に、自分が言いたいこと、準備したことを言って悔いを残さないようにするのがいいと思います。

**水野：職場に入る前と、入ったあとで仕事のイメージは変わりましたか。就職して自分はどう変わりましたか。**

**寺嶋：**自動車のディーラーは上品で恰好いいというイメージだったんですけど、実際にはとても地道な仕事が多いですし、頭を下げなければならないシーンも多いです。でも自分がしたい仕事だったので楽しいです。

**横山：**とにかく与えられた仕事を早くこなすようにしていたんですが、私の職場でミスをお客様(納税者様)にも、すごく迷惑をかけてしまう。急いでやるよりも正確にやるということに心がけるようになりました。あと、職場に入る前は、納税に関する「調査」ということを想像していたのですが、お客様と対応する場面が多く、予想していたより緊張がある職場だということを感じています。

**堂下：**想像はしていたんですけど、やっぱり、すごく細かい仕事なんだな、と感じました。仕事を進めるにあたって、自分の印鑑だけではなく、役席の印鑑も頂かなければならなかったり、些細なミスの処理でも周りの人にも承諾・必要だったり。自分自身でどんどん考えて、行動しなければならぬので、「自分で考える」という点で変わったと思います。



●堂下 綾華さん  
空知信用金庫本店  
2012年観光産業学科卒  
(北海道高校出身)

**水野：お仕事にやりがいを感じる時はどんな時ですか。**

**横山：**ふとした場面で、ちょっとした配慮を感じていただけたときには、仕事のやりがいを感じますね。電話を受けるのがすごく苦手だったんですが、苦手なことを進んでチャレンジしようとして、誰よりも早く電話を受けるように努力しました。これが評価されて、苦手なことをがんばってよかった、と思いました。

**寺嶋：**お客様から感謝していただいたり、あとはお客様をご紹介いただいたとき、自分が信頼される存在になったと感じられるので、うれしいです。

**堂下：**お客様に定期預金などを私の名前でお勧めして、後日私のもとにいらしていただいたときなど、やりがいを感じます。先輩の指導なども任せられるようになり、上司からも「だんだ

ん頼られるようになってきたね」と言ってもらえたのもうれしかったですね。お客様から「いつも、すごくニコニコしているから、あなたに頼みたい」とご指名いただいたときは、やっぱりすごくうれしいです。

**水谷：**職場に入る前は「お役所仕事」で楽なんだろうというイメージがあったんですが、考えが甘かったです。「そこまでやるのか」というほど仕事を緻密にやることに驚きました。自分が変わったことは、やっぱり法に基づいて仕事をしているので、「法を順守する」ということ。日常生活でも、車の運転には特に気を付けています。



●水谷 達也君  
北海道庁空知振興局  
2011年商学科卒  
(札幌北斗高校出身)

**水野：就職活動をしている後輩に一言お願いします。**

**横山：**「ちゃんと見ている人は見ている」ということです。それから、自分ががんばった分だけ、結果はついてくる、ということです。「受けて、落ちた」ということも決して無駄ではなく、頑張りの積み重ねだと思います。

**水谷：**ありがたひな話になってしまふんですけど、あきらめずに続けることが一番です。それと、きちんと息抜きするのが大事だと思います。自分の場合も1週間に1日だけは自分の好きなことだけをやっていました。

**寺嶋：**やりたいことが決まっている人、理想や夢がある人はぜひそこだけに絞って、自分は無理だと思わないで、やったほうが、就職したあとの頑張る理由にもなると思います。明確に決まっていない人は「演技」でもいいから、自分がそこに入りたい熱意を相手に伝えるようにすることだと思います。

**堂下：**たぶん、受けて落ちると、そのたびに落ち込んだと思うんですけど、最後まであきらめずにがんばって、自分のセールスポイント、自分にしかないアピールポイントをうまく売り込めば、どこかで見てくれている人はいると思います。

**水野：自分の就活を一言であらわすと。**

**横山：**継続の「継ぐ」「続ける」。勉強や学生時代に頑張ったことをさらに続けて、就職先でも実を結ぶように「続ける」ということです。

**堂下：**「学ぶ」ということですね。就活では自分自身のスケジュール管理を学ばなければなりません。また、他の職場の方たち、他の大学の方たちとも話す機会もありますので、そうした場でも、いろいろな学びがあると思います。

**水谷：**やっぱり「息を抜く」。ただし、何かをがんばっていないと、それは「息抜き」になりません。ただの「サボリ」です。

**寺嶋：**「みせる」ですね。就職活動という一生に一度の経験を通して、自分を「見せる」ということでもあり、「魅せる」「魅了させる」ということでもあります。

**水野：ありがとうございます。**

(以上、敬称略)



2013年合同企業説明会(札幌コンベンションセンター)



## 留学だより 現在、留学中の学生から便りが届きました。

## これまでの留学生活を振り返って

## ●伊豆野 真以 (商学科4年)

2014年2月26日に韓国大田に来てから、今日で約2ヵ月半が経ちました。私は2011年の9月にも、大田に短期留学をした経験がありますが、その時出会った友達と約2年ぶりの再会を果たし、またここで楽しい毎日を送っています。ですが楽しいことばかりではない留學生活、今回私は海外で虫歯になると言うアクシデントに見舞われました。夜に冷麺を食べてから歯痛が治まらなくて、夜も眠れず一晩中部屋をのたうち回ると言う経験をしました。寮の門限が23時半なので外に出たくても出られず死ぬ思いでしたが、翌日サポート学生のお姉さんに連絡をして、一緒に歯科



寄宿舎のラウンジで、昨年の交換留学生チャン・ボムムさんと友人達と(後列左端が伊豆野さん)

に行ってもらい事なきを得ました。韓国の歯医者さん、値段もそこまで高くなく確かな技術で安心しましたが、皆さん虫歯には要注意です!

## 煙台大学の留學生活

## ●関井 裕士 (商学部2年)

一年生の頃は就職に役に立つからぐらいの軽い気持ちで留学に向かいましたが、一年次の留学を通して僕の考えは大きく変わりました。中国人の朝から晩まで勉強し続ける真剣さ、韓国人やアメリカ人などの外国人のコミュニケーション能力の高さ、そして先輩の中国語能力の高さを目の当たりにしたからです。自分も先輩方のように中国語を話せるようになりたい、そんな好奇心から今回休学という形で再留学することを決めました。最初は何を言っているのかまったくわからず自分の能力のなさに嫌気がさすこともあったんですが、中国の授業、韓国人とのサッカーなどを通して少しずつではありますが、しかし確実

に語学能力を上げることができ、外国人と会話をできることに喜びを感じています。留学は確かに不安が多いですが、留学という経験は確実に一生の宝物になると思います。留学する日本人がもっと増えるといいですね。



口語授業風景。ロシア人・アメリカ人1人、日本人2人、韓国人が約25人のクラスの仲間(関井君撮影)

## Topics 7 交換留学生歓迎会が開催されました

4月12日(土)に地下1階自由学習コーナーで、中国の交流協定校からの客員教授、学部・大学院への留学生と日本人学生及び本学教職員との交流会が開かれました。本年度は、山東大学威海校から 高萬雲(ガオ・ワンユイ)先生、学部への交換留学生は韓国大田大学から6名、中国煙台大学から2名、山東大学威海校からは6名の計14名を迎えました。また、大学院も新たに研究生も含め3名が加わり、北海商科大

学全体では20名の留学生を受け入れています。ここ数年の交流会は、設営などは李先生のゼミの学生が手伝い、司会進行なども学生たちが主体的に行なっています。交流だけでなく、運営も積極的に関わってくるようになり、この国際学生交流会も北海商科大学の伝統的な行事になりつつあります。なお、本年度は80名を超える参加がありました。(加藤)



参加者全員での集合写真

## Report 4 開発研究所活動報告

2013年度の開発政策研究所の活動のうち、前号に続き(1)第1回研究所セミナー、そして北海道・東アジア観光研究連携事業としての(2)タイ学術研究交流事業と(3)台湾学術研究交流事業について紹介します。

(1)第1回研究所セミナーは、本学において2013年11月1日に開催しました。講師として仙台環境開発総合技術研究所上級研究員高谷俊彦氏をお迎えし、BSCの視点から観光戦略策定の方法について紹介いただきました。

北海道・東アジア観光研究連携事業では、安定したインバウンド需要が見込める対象国としてタイと台湾において現地調査を実施しました。



第1回研究所セミナー

(2)タイ学術研究交流事業は、副所長大内東教授を代表とし、研究員細野昌和教授と研究員伊藤昭男教授が参加して2013年9月18~22日に実施しました。学外からは、北海道観光振興機構の北山憲武専務理事が参加しました。聴取り調査、意見交換の訪問先として、タイ政府観光局およびタイ国際航空本社、バンコク東急百貨店、タマサート



訪問先の一つタイ国際航空本社

大学を対象としました。次いで、(3)台湾学術研究交流事業は、副所長大内教授を代表とし、研究員伊藤教授と研究員細野教授、研究員蘇林教授が参加して2013年12月18~22日に実施しました。調査先として、中華航空台北分公司および長榮航空台北営業部、台湾政府交通部観光局、中国文化大学を対象としました。

両調査において、北海道が有望な観光地とみなされていることなどが確認され、それを受けた今後の戦略の重要性が示されました。さらに両国現地調査では、インバウンド向けのモバイル通信事情の現状と政策的な対応を確認しました。(細野)



調査で訪れた中華航空台北分公司

## Topics 8 キャンパスベンチャーグランプリに本学生入賞

キャンパスベンチャーグランプリは、学生の為のビジネスプランコンテストです。アントレプレナーシップ論では、希望者があれば入賞を目標に、講義の最初の数週間指導します。堤は前年ゼミでアイヌの伝承地である平取町二風谷に研修旅行を実施。その後同地の「二風谷イタ・アツシ」が日本の伝統的工芸品に指定(北海道初)されたため、ゼミ生でもある高木郁香さんから3人が文化を背景にしたプランを作って応募し、見事入賞しました。最近の受講生は、応募

にも消極的になっていますが、社会人になってから挑戦したことの意義を実感して、研究室に来る卒業生は増えました。(堤)



2013年度の北海道地区表彰式

## 交換留学生紹介

本年も交流協定校である中国の煙台大学、山東大学(威海)、韓国の大田大学から、交換留学生合わせて14名を本学に迎えました。語学プログラムを中心に一般科目も履修し、1年間共に学ぶこととなります。各大学から1名ずつお話を聞きました。

### ■煙台大学 外国語学院日本語科3年

佟佳(TONG JIA)さん

日本のアニメやドラマで日本の文化に接してきました。語学資格を取り、日本の企業で働きたいと思っています。まだまだ言葉使いの習慣に戸惑うこともありますが、日本国内を旅行したり、日本人と同じように日本語を話したいと思っています。食べ物の味付けに戸惑ったりもしていますが、ゴミの分別など生活にも興味を持っています。女の子がとても綺麗だと思いますね。



煙台大学からの交換留学生、左から、吳WU先生、石玉雪SHI YUXUEさん、佟佳TONG JIAさん、李Li先生

### ■山東大学(威海) 翻訳院日本語科3年

徐建华(XU JIANHUA)君

アニメやドラマなどだけではなく、日本の技術力の高さなどに感心していました。中国のニュースで流れているだけの日本ではなく、もっと日本を知りたいと思いました。中国の事もっと良く知ってもらいたいし、これからさらに日本語の能力を高め、日本で中国語の先生になりたいと思っています。日本の友達はとても親切で、1時間も歩いて道案内をしてくれました。とても嬉しく思いました。



山東大学(威海)からの交換留学生、前列左から、王迪WANG DIさん、黄莉敏HUANG LIMINさん、彭月園PENG YUEYUANさん、後列左から、徐建华XU JIANHUA君、刘诗琪LIU SHIQIさん、崔艳艳CUI YANYANさん、高GAO先生

### ■大田大学校 日語日文学科3年

姜海延(KANG HAEYEON)さん

子どもの頃から日本のアニメなどが好きな友達がまわりにいたりして、自然に日本語に触れていました。高校生になり母の勧めなどもあり、独学で日本語の語学試験を受けました。大学も交換留学制度があるということなどを知り日本語を選びました。ひとりで勉強をしていたので、留学でもっと勉強してみたいと思いました。一人暮らしは初めてですが、料理などをしたり楽しく毎日を送っています。



大田大学校からの交換留学生、左から、金法秀KIM BEOPSUさん、鄭淨烈JUNG JUNGLYUL君、姜海延KANG HAEYEONさん、朴泳俊PARK YEONGJUN君、姜敏知KANG MINJIさん、金道明KIM DOMYUNG君

## Report 5 院生研究活動

### ●郭倩(大学院 博士後期課程)

北海道に来てもう三年目の春になりますが、北海道との付き合いは5年前に遡ります。2009年に短期留学生として札幌と北見で、日本の伝統文化と北海道の大自然が詰まっている1ヵ月を過ごしました。その時から私は北海道が好きになり、いつかまた来たいと思いました。2012年に北海商科大学の大学院に入学し、宿願が叶いました。留学生活の最初の頃は、日本語が話せても日本人の感性が分からないという壁にぶつかり、不安と期待、漠然と興奮な日々でした。幸い、先生と友人が支えてくださったおかげで、何とか乗り越えました。

現在は、博士課程に進学し、観光と交通に関する研究をしています。「人が旅をするのは到着するためではなく、旅をするためである」とゲーテ



2013年WHTER&ICES世界ホスピタリティツーリズムイベント研究大会で発表(タイ・バンコク)



WHTER&ICESで発表後Tourism Management編集長Chris Ryan氏と

が言ったように、研究も旅と同じです。とにかく煮詰まず焦らず、基礎を確かめながら、色々な可能性を探ることが私の研究を楽しむコツです。また、海外と日本国内の学会での発表も積極的に参加しております。学会での発表を通し、先生方々の研究発表を拝見できることは勿論、同世代の研究者たちと交流できることが最も有意義でいい刺激にもなります。これからも、好奇心と忍耐力を保ちつつ、留学生活との旅を楽しんでいきたいと思っています。



2013年日本観光研究学会で(松蔭大学会場)



### 研究室の学生

博士課程の院生2名、学部学生17名（3年10名4年7名）の所帯である。院生のテーマは、「21世紀のビジネスモデルの交通システムと観光」「北海道のインタープリテーションによる観光振興」で、学部のゼミテーマは、完結した地域における観光の在り方を考える「離島観光」の考察である。博士課程の院生ゼミは、研究室の基礎学習の段階で、社会環境はR.フロリダ、経済的側面はコトラー、統括的視点はマッカネルを共通言語にしている。

### 学会活動

原則所属院生は、APF (Asia Pacific Forum) の大学院生の部に発表している。英文審査付きだが、英文最終チェックは、各自海外在住の友

達関係で完成を見ている。日本からは、毎年5校前後であるが研究室の院生は、2戦2勝である。本年は、博士課程1年目の院生が満を持して北米No.1のTTRA (Travel Tourism Research Association) の院生主体のポスターセッションに提出予定である。これはAPFに比較して数段難易度が高く、アジアでは、常連の香港ポリテック院生ぐらいかと思う。小生

の成績である。今年度は、ホーチンミン市が会場のため中越戦争の恐れで辞退した。次年度のTTRAのオールセッションを考えているが、1勝1敗の成績で、NYヤンキーズの田中に遙かに及ばない。

### 研究室の研究内容

本研究室は、R.パトラーのTALC

心地よい。最近では、TALCのFad現象に着目し多面的に進めている。昨年は、Fad現象の例として聖地巡礼の調査をした。元は、アニメツーリズムに取り組んでいた学生の影響で、「らき☆すた」の聖地、鷲宮神社にも行った。白髪交じりのおじさんが、オタクの集まる大西茶屋に行って写真を撮りまくったが、少し浮いて見えたと思う。

### フィールド

気候も北海道に似ていても極寒で文化度も高い北欧が興味ある場所である。昨年はヘルシンキに7日、オタワに3日いた。どちらもトラムを利用して回ったが、公共交通の観光活動での使いやすさを実感した。「カモメ食堂」のロケ地を巡ったが、アカデミア書店では、アールの空間がとても素晴らしかった。



フィンランド・ヘルシンキの映画ロケ地の前で

## Report 6 研究のいま — 「研究室 now」

■ 中鉢 令兒 教授

は、APTA (Asia Pacific Tourism Association) に提出しているが、オールセッション7戦6勝1引き分け



台湾で行われた2012年APTA総会で (2列目右端が中鉢教授)

(Tourism area life cycle) による地域開発に関する研究で、昨年度まで科 研費を頂いて進めていた。過日概ねの結果を整理し冊子にしたが、USA の先輩 (15歳ほど年下のコーネル出身の屈指の研究者) にPDFで送った。彼からそこの評価メールが届きとても嬉しかった。研究の世界は、ノーサイドで、勝ち負けがはつきりしてい

## ゼミ訪問

本学では社会や文化に関連する一般教養科目を、語学同様、異文化に対する知識を深め、コミュニケーション能力を高めるための「異文化交流科目」と位置づけています。社会文化ゼミナールは1年生前期 (第1セメスター) で選択します。その中から横田ゼミと玉井ゼミを紹介いたします。

### 1 横田 榮一 教授

社会文化ゼミナール



社会文化ゼミナールでは、国際経済、近代倫理、時事英語、情報処理など、多彩なテーマが設定されています。座学で学問的知識を養い、発表や討論を通し批判的思考能力を身に付けるという点では、2学年後期 (第4セメスター) から始まる専門ゼミナールと同じ教育目的をもっています。しかし、異なる側面もあります。社会文化ゼミナールのゼミ生は新入生です。ゼミを通し大学生として学問への基本的な取り組み方を身につけることが、もう一つの目標になっています。

社会、文化、経済をめぐるグローバル化の波は、国境や地域の境界を越え地球規模に拡大し、大きな変化を巻き起こしています。これに対しては、時代のすう勢として積極的に推進する立場がある一方で、経済的格差の拡大など、批判する声も少なくありません。横田ゼミでは、グローバル化した世界でいま何が起きているのか、理解すること

を学習の目標にしています。

横田先生の専門は論理学・西洋哲学。ウイトゲンシュタイン、アドルノ、カントといった哲学者たちを、主な研究テーマとしています。第1セメスターのゼミ以外の講義では、「論理と思考A」「近代社会と倫理学A」を担当しています。在籍する25名のゼミ生は、これらの講義を併せて履修しています。

ゼミでは横田先生の近著「グローバルゼミナール」を、新なる不透明性・批判理論 (共同文化社) を、テキストとして併用しています。「現代におけるグ



横田ゼミのみなさん

ローバリゼーション」「グローバルゼミナール」にまつわりついている種々の不透明性、「市民社会・国家の変容」「ギデンズの第三の道政治」など、ここでは新自由主義のもとで展開されてきた、今日のグローバルゼミナールが抱える問題が、批判的に考察されています。

このテキスト内容の理解と、それをもとにした プが、協力しながら学ぶ体制を作ること大切で す」と玉井先生。 しかし、実際には議論が進まないことも多々あ ります。回避するために「順番プレインストロミ ング」も行われています。「発言の順番が回って きたら必ず何か言わなければならない」「他の発 言者の意見の繰り返しはご法度」「メモを取りそ れを参考に簡潔な発言を心がける」「発言は最低 3巡する」など、ルールも決 まっています。

### 2 玉井 航太 講師

社会文化ゼミナール



私たちが人間は、社会の中で相互に影響し合って成長し、生活を営んでいます。このよう な人と人との相互作用を、科学的な方法で研究するのが心理学です。玉井ゼミではその基礎を学びます。一般に心理学では実験や社会調査、データ分析などの方法を通して、人間行動の法則性に迫ります。とくに玉井ゼミでは人間行動観察の方法について学び、さまざまな社会場面における行動の暗黙のルールを検討課題としています。

玉井先生の専門分野は心理学で、地域コミュニティにおける社会・物理的環境の影響などを主に研究しています。ただ、心理学をめぐる研究課題は多様。「ゼミで学ぶ時間には限りがあります。専門的な知識や、データ分析などの技術的ノウハウを学ぶことも大事ですが、それ以上に大学に来て学ぶことの本質や学習への姿勢、取り組み方を、ゼミの中で身につけてもらいたい」と言います。玉井ゼミでは、R・バーカーの「行動セッテイ

ング理論」などに基づいて行動観察の基礎を学んでいます。公園やファミリーストランなどの場面を選び、行動観察のフィールドワークも計画しています。その中で「大学の学び方」を身につけるといふ意味では、大切な3つの要素が考えられます。一つは文献や配布された資料の読み方のコツを学び、内容を理解することです。次に理解した内容をレポートや発表を通して第三者に伝えること。議論を通じ自分の理解を深め、議論する相手の理解をサポートすることも必要です。これらで玉井先生が最も重視しているのはプレゼンテーション能力だと言います。



玉井ゼミのみなさん

そこで玉井ゼミが、積極的に取り入れているのがブレインストーミングです。自由な雰囲気の中で、他人を批判せずにアイデアを出し合っ行ってこうという討論方法ですが、ゼミでは5人を単位としてグループ分けを行い、グループのメンバーが決められたテーマについて、自由に議論を進めて行きます。「グルー



解決提案などの発表や議論を通して、毎週のゼミは進められています。「ゼミが開かれる16週の間には、ゼミ生には必ず2回以上発表してもらいます。また、発表は一方的に話すだけでなく、聞く側のゼミ生に対する質問も入れるよう指導しています」と横田先生。学術用語など分からないことがあれば、すぐ調べることを指導し、スマートフォンを教室持ち込みも認めているとも言っています。発表は5人ごとにグループ分けし、グループ単位で行われます。初めて発表を体験した成田大季君は、「難しかったけれど面白いことも多く、受け身だった高校での授業などとは違い、自分から学びに行くことの大切さが分かりました」と言います。これに対し横田先生は、「自己確認や自己理解が学問の出発点である」ことを強調します。

速報!! 5.24 体育祭

[ Photo Gallery ]



Report 7 韓国語サークルが韓流ダンス大会で優勝

Korean Night K-POP ダンスコンテストを振り返って

●伊豆野真以 (商学科4年)

2014年1月25日北大の韓国人留学生会が主催したイベント“Korean Night in Sapporo 1st”に私たち北海商科大学の韓国語サークルが参加してきました。このイベントは北海道内の韓国人留学生と日本人学生の親睦を深め、日韓の友好関係を形成することが目的で、内容としては韓国文化公演やK-POPカバーダンスコンテストなどでした。北海商科からは7名がコンテストに出場しましたが、就職活動やアルバイトで忙しい中、皆で予定を合わせ2週間ほどで振付を練習しました。全員集まったのは結



優勝した韓国語サークル局イベント前日でしたが、本番では皆がイキイキと楽しんで踊ることができ、6組中優勝することができました。今後とも、毎年優勝する強豪サークルとして北海商科韓国語サークルの名を轟かせてほしいと思います。



写真上：新入生ガイダンスでのサークルPR  
写真下：4月5日に行われたサークルPR大会

平成26年度 サークル一覧

体育	OSB(アウトドアスポーツビジネスサークル)
体育	ダンスサークル(ドルティップ)
体育	テニスサークル
体育	ドッジボールサークル(ハイタッチ)
体育	軟式野球部
体育	バスケットボールサークル
体育	バレーボールサークル
体育	フットサル部(REGISTA)
体育	陸上競技部
体育	山岳同好会
文化	英語サークル(DOLCE)
文化	会計サークル
文化	環境ボランティアサークル
文化	韓国語サークル
文化	教育研究会
文化	軽音サークル
文化	吹奏楽サークル(北海商科ウインドオーケストラ)
文化	中国語サークル(軟々喜々)
文化	ツーリズム研究会
各種団体	サークル連合執行部
各種団体	体育祭・大学祭実行委員会
各種団体	卒業アルバム制作委員会

@学生相談室ニューズレター2

「困ったら相談！」 学生相談室 カウンセラー 小林 美穂子

新年度が始まり数カ月経ちました。ようやく新しい環境に慣れて楽しい生活を送っている人もいれば、中には人間関係で苦労をしていたり、勉強についていけるか不安を感じていたりする人もいるかもしれませんね。

できることなら、日々楽しく悩みのない生活を送りたいものです。しかし、生きていく中で、何がしかの壁にぶつかることは残念ながら避けられません。そんな時は、まず、一呼吸置くことが大切です。例えば、感情に流された言動を衝動的にとってしまうと、相手を傷つけてしまうばかりか、後になって自分自身が「あんなこと言わなきゃ良かった」「しなきゃよかった」と後悔することがあるからです。

これは単なる一例であって、悩みはその他多岐にわたりますよね。大事なこと

は困ったときに、一呼吸置いた上で、どのように対処していくのがいいのかわかると自分で考えてみたり、周りの信頼できる人に相談してみたりすることです。人に話すことによって気持ちの整理がつき、思わぬ解決のヒントが見つかることがあります。場合によっては、話しているうちに、「あれっ?何に悩んでいたんだっけ?」という展開になるときもあります。それでも、打開策が浮かばず途方に暮れてしまうこともあるかもしれません。

そんなときは、一人で抱え込まずに、相談室の扉をたたいてください。一緒にどうすればいいか、考えていきましょう。

まずは、下記のアドレスに予約申し込みの連絡をくださいね。

E-mail : soudan@hokkai.ac.jp



## Report 8 堤ゼミで外部講師講義を行う

昨年度後期の2年生対象の堤ゼミでは、江別小麦を巡る地域の活性化について各自が調べたことを発表し、現地調査も実施しました。さらに、江別の観光や江別自体のブランド化に取り組んでいる中核的な存在として株式会社町村農場を研究し、最後のゼミ時間に同社代表町村均氏にご来学頂きました。同社は、札幌農学校二期生の金弥氏からの歴史があり、息子の敬貴氏も次代も北大とアメリカで学び、水準の高い経営を維持しています。敬貴氏は、移転を決めた対雁の土壌が悪条件だったため、先行きのリスクを抱えながらも自己資金で米式の土壌改良を行って成功、以後の北海道の土壌改良の見本になりました。戦後は引き上げ者に農場



という職場を提供する等、地域にも酪農にも貢献しました。それがブランド訴求力の源泉になっているようです。現在の社長均氏は、兄の急逝で電通を退職して農場を承継、ブランドを護りつつ製品の多角化に挑戦しています(バイオガスプラントも初導入)。ゼミ生は、社長との意見交換もでき、有意義な時間を過ごしました。(堤)

## Report 9 平成25年度各種検定試験合格者数

平成25年度における専門キャリアアップ(APQ)科目履修者を中心とした各種検定試験合格者を別表に掲載します。外国語に関する検定試験では、英語、中国語、韓国語、それぞれにおいて上級試験に数多くの学生が合格しました。APQ科目である情報管理論を履修した学生がトライするマイクロソフト・オフィス・スペシャリスト(MOS)検定では受験者のほぼ全員が合格し、大きな成果を上げています。とくに今回は、本学学生(現4年生)がワード全国6位、エクセル全国10位に入賞し、世界大会に向けた第2次選考に進みました。簿記・会計、貿易実務、旅行業等に関連する検定試験においても数多くの学生が合格し、さらに上級の検定試験を目指して研鑽中です。(柳川)

- ※1: TOEICは2013年度実施試験の集計。(院生は加えない。)
- ※2: 中国語・韓国語は在学生の資格保有者数。なお、複数級合格している学生は、級の高い方をカウントし、低い級は除外している。
- ※3: 税務会計・日商簿記・貿易実務検定・旅行業務については、2013年度の試験結果と、( )内に資格所有者の数を記載している。

### 各種検定試験合格者(5月2日現在)

科目名	試験名	等級	2013年度	
PAL (I~IV)	TOEIC (英語) ※1	600点以上	2	
		599~550	1	
		549~500	4	
		499~450	2	
		449~400	21	
	HSK (中国語) ※2	6級	8	
		5級	10	
		4級	45	
		3級	11	
		6級	7	
		5級	9	
	TOPIK (韓国語) ※2	4級	4	
		3級	14	
		2級	34	
		1級	20	
Excel		53		
情報管理論 (I~III)	MOS マイクロソフト オフィススペシャリスト	Word	57	
		Power Point	26	
		法人税2級	2 (2)	
税務会計論 (I~III)	税務会計 能力検定	法人税3級	2	
		消費税2級	(15)	
		消費税3級	10 (12)	
		2級	3 (7)	
通商実務論 (I~IV)	貿易実務 検定 ※3	B級	2 (3)	
		C級	5 (13)	
旅行業務論 (I~IV)	旅行業務取扱 管理者 ※3	国内	1 (2)	
		総合	0 (0)	
		日本商工会議所 簿記検定試験 ※3	2級	3 (7)
			3級	6 (23)

## Report 10 スピーチコンテスト・語学検定結果報告

高島君が1位、出場者全員が高評価  
5月25日「漢語橋」世界大学生中国語スピーチコンテストが孔子学院で行われ、本学の2年生の高島直人君が1位、4年生の皆川隆貴君が2位に入賞した。最も厳しい審査の中で、本学の出場者は高島君、皆川君のほか、塚本智明君、川尻寛貴君も高い評価を博した。2009年以来、本学は毎年2人が入賞してきた。今回は中国で開かれる本戦に出場するのは5人目になり、2年生で代表になるのは初めてである。

勉強の秘訣は何かと審査員に聞かれた時、高島君が流暢な中国語で各先生や留学生及び先輩達の暖かい指導が得たからと謙虚に答え、観客から歓声が沸いた。ここで、今回の指導に携わった高万雲、呉雪燕両先生及び留学生の皆さんに心から厚く御礼申し上げます。



一位に輝いた高島直人君のスピーチ

同時に、いつも高レベルを目指して一所懸命に努力してきた諸出場者に敬服と祝福の意を表したい: お疲れ様でした! 今後更なる高目標に向けて一步一步と前進してください。(蘇)

### 最上級合格、多数が合格

去る4月19日、本学を会場として韓国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験が実施されました。本年10月に実施される試験からは、試験制度が大きく変わるため、現行制度での実施は今回が最後となりました。本学からは40人もの受験者が初級・中級・高級の各級(1~6級、6級が最上級)に挑戦しました。6月初旬にネット上で合否確認が可能になり、3年生(学習歴2年以上)は5級に1人、4級に5人、3級に1人が合格したことが判明しました。注目すべきは2年生(学習歴1年以上)が予想以上の実力を発揮したことで、6級に1人、4級に3人、3級に7人、2級に10人が合格しました。年を追って受講者の実力は上がる傾向を示しており、さらなる卒業までに最上級である6級を取得する学生も年々多くなってきています。(水野)

## Info 1 交換教員紹介

交換教員

高万雲

ガオ・ワンユイ



1957年3月、中国河北省張家口市で生まれました。1988年に河北省教育學院を卒業し、現在は山東大学の言語学教授です。中国修辭学会・常務理事、中国華東修辭学会・常務理事をつとめています。《文学用語の多次元の視野》、《中国の修辭の理論と批判》、《錢鍾書修辭学の思想演繹》、《20世紀中国の修辭学》などの専門書(中国語)があります。また、中国・日本・米国・マレーシアなどで130篇あまりの学術論文を発表しました。

2014年4月1日から北海商科大学に中国語を教える客員教授として赴任し、日本の学生に対してやや深い印象を受けました。学生たちは勤勉で勉学に励み、先生を尊敬し、自律心が強く、中国語学習に対してとても興味を持っています。そして卒業後に中国の交流と関係がある職業に従事したがつているように見受けられます。

## Info 2 平成26年度前期公開講座開催

### 「東アジアの文化・経済」が開催される

北海商科大学公開講座を上記の全体テーマの下で開催しております。

■日時: 2014年5月24日(出)~7月26日(出) 全6回、10:30~12:30

■場所: 北海商科大学8階会議場

■参加対象: 一般市民(含む学生)

□入場無料



本学の公開講座は平成19年度より前期・後期の年2回で開催し、本年度で8年目を迎えています。これまで「アジアの時代にアジアを学ぶ」という本学の特色ある教育に照らして東アジアの知的関心を高めるべく実施して



第一回公開講座、講師の本学西川博史教授

まいりました。幸い毎回多数の参加者(各80名程度)があり、恒常的な受講者も多数にのぼりすっかり定着した感があります。今期は、中国、韓国にとどまらず、フィリピンおよびロシア・ウクライナに関するテーマも講演に含めました。本講座が単に知識の習得にとどまらず、日本を含めた東アジア諸国間の人々の心にまで浸透した共通認識・相互理解および交流へとつながることを期待しています。本講座が受講者を通じて広く地域社会に浸透し、地域の知識基盤の強化に少しでも役立てることができるよう今後も取り組んでいきたいと考えております。これからも多くの方々のご参加を期待しております。(伊藤)

### 開催日、テーマ、講演者・コメンテーター

第一回 5月24日(出)	第四回 7月5日(出)
「日本の戦争賠償と歴史認識」 西川博史 竹野 学 玉井航太	「中国語・中国詩と中国の考え方」 高万雲 「エバー航空の台湾~北海道路線戦略」 陳 俊銘 山脇巨一
第二回 6月14日(出)	第五回 7月12日(出)
「フィリピンの歴史と経済」 千葉芳広 伊藤昭男	「中華圏ビジネス事情-北海道のブランド力」 角田貴美 「中国の企業文化-社会を変える力になれるか」 石原亮一
第三回 6月28日(出)	第六回 7月26日(出)
「『反韓感情』の分析」 水野俊平 「グローバル経営とクルマ社会」 村松祐二	「ウクライナ、プーチン、日本」 木村 汎

●お問い合わせ先 北海学園北東アジア研究交流センター(HINAS)

Eメール hinas@hokkai.ac.jp ホームページ <http://www.hokkai.ac.jp/hinas/>  
TEL.011-841-1108 FAX.011-841-1109

### 平成26年の行事予定 (6月12日現在)

6/21(出)	海外語学留学保護者説明会(予定)	9/12(出)	2年次ガイダンス、1年次ガイダンス
6/29(出)	第1回オープンキャンパス	9/16(出)	3年次ガイダンス、4年次ガイダンス
7/1(出)	所属学科選考ガイダンス[2年次]	9/16(出)・17(出)	1年次履修登録
7/3(出)	志望学科届提出期限[2年次]	9/17(出)・18(出)	2年次履修登録
8/2(出)	前期講義終了	9/20(出)	北海商科祭(予定)
8/3(出)	夏季休業開始	9/22(出)・24(出)	3年次履修登録
8/6(出)	成績開示開始、成績・採点異議申し立て受付	9/24(出)	4年次履修登録(1日限り)
8/6(出)・7(出)	第2回オープンキャンパス	9/25(出)	履修登録訂正日(午前)
8/7(出)・8(出)	サークルリーダー研修会	9/26(出)	後期講義開始
8/8(出)	成績・採点異議申し立て受付終了	9/28(出)	第3回オープンキャンパス
8/14(出)~16(出)	全学休業日	11/5(出)・27(出)	振替講義日(月曜日)
8/27(出)	海外語学留学生出発[中国](予定)	11/21(出)	後期修学指導面談①(予定)
8/28(出)	海外語学留学生出発[韓国](予定)	11/23(出)	推薦入学試験
9/9(出)	前期修学指導面談②(予定)	12/27(出)	冬季休業開始
9/11(出)	夏季休業終了、所属学科発表[2年次](予定)	1/7(出)	冬季休業終了